



分散コンピューティング部会

分散コンピューティング部会 リーダー
株式会社ノーチラス・テクノロジーズ
目黒 雄一

分散コンピューティング部会の紹介

- 国産OSSでHadoop/Sparkの運用・開発フレームワークである「Asakusa Framework」を中心とした部会として2014年に設立
- 分散処理界隈で様々なツールが登場、活用される場面が増えてきたので、より範囲を拡大して分散処理全体を対象とした部会へと2017年度よりテーマを拡張
- 主な参加企業
 - 新日鉄住金ソリューションズ株式会社、東芝デジタルソリューションズ株式会社、株式会社ノーチラス・テクノロジーズ、株式会社日立ソリューションズ、（五十音順）

- 分散処理のソリューションがサービス化されている
 - 自分たちで構築する、という前提よりは、サービスを利用することが前提とされてきている
 - クラウドが前提としており、OSSを使ったマネージド・サービスという観点が色濃い
 - 様々なOSSソリューションを組み合わせて工夫するのはなかなか難易度が高いため、サービサー(主にクラウド事業者)側で、ある程度の組み合わせをしてサービス化しているものを使う、という観点になっている
 - “自分たちで構築する”という観点が薄くなってきている
 - それぞれのミドルウェアやアプリケーションを特徴を理解し、適切に組み合わせ、運用まで実施していく、ということが出来る人が限られている
 - レディメイドのサービスを使うことがよりコストメリットがあり、手間がかからないことが浸透してきている
 - 分散のミドルウェアについては、主流がMapReduceからSparkに変わった
 - 一見するとSparkをサービス化しているものかどうか分からない(隠蔽されている)

- **使いこなすのが大変でなかなか進まない**
 - **いろいろなソリューションがあって、結局使い切れない**
 - **ワンストップのようなソリューションはなく、組み合わせが必要**
 - **何をどう組み合わせるとよいかわからず、アーキテクチャが迷子になりがち**
 - **結局、力技にコストをかける例が多い**
 - **目的の達成のために、どうアプローチするかの情報が必要**
 - **ツールとしてのITを使いこなす情報提供は意外に少ない**
 - **部品の説明を超えたものが必要とされている**

分散コンピューティング部会ではその提供を目指したい

活動実績

■ 部会開催

■ 分散処理をテーマとした最新情報の共有

- ゲストを招いて、部会内での勉強会のような取り組みも実施しています
- 今期は、新しい分散データベースの開発についても取り上げました

■ 技術情報及びビジネス情報の情報交換

■ 勉強会の開催(セミナー形式)

■ 過去の事例

- Databricks社による分散処理のクラウド基盤サービスの紹介
- Microsoft社によるデータ分析基盤に関する勉強会

■ OSSコミュニティの支援

- Project Tsurugiのコミュニティ支援

■ “劔”とは

- RDBMSの開発を目的としたプロジェクト
- DB系Tx系の企業・有志グループ・ユーザ会等により現在開発中
- NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、経産省の外郭団体)の公募プロジェクトに採択
- Postgres互換のRDBMS
- 2023年3月にα版としてOSSで公開予定

■ 情報公開

- https://www.osscons.jp/distributed_computing/download/
 - 過去に”劔”の開発状況を報告した際の講演資料を掲載していますので、合わせてご覧ください

2022年度の活動

■ 活動予定

■ 部会

- 隔月に都内近郊で開催
- 技術情報・ビジネス情報の交換、勉強会企画など

■ 勉強会の開催

■ その他

- 分散コンピューティングの取り組みを持つ方たちとの交流

■ リーダー

- 株式会社ノーチラス・テクノロジーズ 目黒 雄一
- 株式会社日立ソリューションズ 才所 秀明

一緒に活動して頂ける方は、是非ご連絡を！

